

唐津市立高島小学校学校だより

た か し ま

令和6年 4月9日

No.2 校長 森 隆久



人が嫌がることをしない、人が嬉しくなることをする

昨日の始業式。

緊張した面持ちの子どもたちに「1年間守ってほしい約束」として、次のことを話しました。

人が嫌がること、人が悲しくなることは しない

人が嫌がることを子どもといっしょに考えました。

「人を叩く」「蹴る」「悪口 陰口を言う」「仲間外れにする」「馬鹿にする」「無視する」などが出ました。

人が悲しくなること・・・これは少し難しかったようです。そこで、私から説明しました。

「みんなの命がなくなってしまうと、誰が悲しみますか。」

「家の人」

「そうです。あなたの命がなくなってしまうと、家の人はもちろん、先生たち、高島の人たち、みんながとっても悲しくなります。だから、自分の命や友達の名が危険になるようなことはしてはいけません。」

人が嬉しくなること、人が元気になることを する

次に、人が嬉しくなることや元気になることを考えました。

「一緒に遊ぶ」「挨拶をする」「一緒にかえる」「泣いている友だちがいたら、そばにいてあげる」などがでました。加えて私から

「あなたが、高島小学校で楽しく一生懸命に勉強することも入ります。あなたが家に帰って『今日ね、学校でこんな勉強したよ!』『こんなことができるようになったよ!』って言うと、誰が嬉しい気持ちになりますか」

「家の人!」

「そうだね、家の人がとても嬉しい気持ちになるね。高島の人も嬉しくなる。そして、自分も嬉しくなる。だから、学校で楽しく一生懸命に勉強することが大切です」

最後に「この二つの約束守れる人!」と尋ねると全員が手を挙げました。

子どもたちに伝わるように「約束」という言葉を使いました。

しかし「約束」というより、「生き方」と言ってもいいかもしれません。これからの学校生活、これからの人生を方向付けるものです。

1年間、その状況に応じて繰り返し伝えていきたいと考えています。

始業式、初対面の私の話をしっかり聞き、考え、問いかけに答えようとする子どもたち。

素晴らしい1年になることを確信しました。